

「第 64 回全国学校薬剤師大会」及び「第 64 回全国学校保健研究大会」に参加して

千葉県学校薬剤師会
常任委員 大野定行

「第 64 回全国学校薬剤師大会」及び「第 64 回全国学校保健研究大会」が 11 月 6 日、7 日に石川県金沢市において開催されました。

「第 64 回全国学校保健研究大会」は、「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進—健康で安全な生活を送る子供たちの育成—」を主題に開催されました。

開会式後の表彰式において、船橋市立葛飾小学校の学校薬剤師である荒木隆三先生が文部科学大臣表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。

全体会後の記念講演は、「学校における健康教育を未来に生きる子供たちのために」という演題で聖心女子大学文学部教育学科 植田 誠治先生の講演がありました。

現代の子供たちは携帯電話やインターネットの普及をはじめとする情報化社会の急速な発展の中に生きており、このような変化の中で大人になっていく。これらを踏まえて、学校における健康教育は今の子供たちはもちろんであるが、未来に生きる子供たちに必要な保健の教養は何か、そしてそれを身につけていくに必要なものは何かについて先生の現場での実践例をいれながら講義されました。また、“あれもこれも”から“これをこそ”へとして、問題意識は必要だが、それが高すぎてついつい教える内容を欲張ってしまうことがある。“あれもこれも”教えたい、学んでほしいという思い・願いから“これをこそ”教えたい、学んでほしいという思い・願いへ転化し、指導内容を精選する。そうすると子供たちは消化不良をおこさないと述べられました。このことは我々学校薬剤師が薬の正しい使い方教室を行う上でも資料を作成する基本となると思いました。最後に学校における健康教育の中心は教員であるが、内容によっては専門家との連携が必要であり、健康教育の推進に効果をもたらすと述べられました。

「第 64 回全国学校薬剤師大会」は、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進 —明るい未来を創る児童生徒の健全な心身・成長のために—」を主題として、教育と学校薬剤師の在り方を見つめ直す機会とし、時代に要請される学校薬剤師像を探ることを目的として開催されました。

開会式後の表彰式では、学校薬剤師制度創立 60 周年記念文部科学大臣表彰があり、千葉県からは畠山由夫先生、松下世津子先生、三代川重義先生、竹内清先生、鶴岡醇先生が受賞されました。誠におめでとうございます。

特別講演は「職から子供健康を考える 漢方の立場から」という演題で北陸大学 薬学部 医療薬学講座 教授 劉 園英先生の講演がありました。現代の子供たちの食生活の乱れは大きくインスタント食品をはじめスナック菓子やファストフードなどにより日本の食文化が急激に変化していることは憂慮すべき問題である。食品添加物の許可数においてもアメリカ約 140、英国約 14、北欧 0 であるのに対し日本は約 388 であり、これらが肥満・糖尿病、高血圧・脳内汚染などの低年齢化を起こす要因ではないかといわれていました。

食とは、人を良くすると書き、「動物が生命を維持するために、栄養素を含む物質を（農畜水産物）を摂取することであり、中国では古来より病気になる前の「未病」の段階で食物によって病気を防ぐという考え方がある。未病の多くは生活習慣によっておこる。様々な生活習慣の中で、「食生活」こそが健康の基本である。だからこそ、未病を治す食習慣を見直さなければいけないと述べられていました。

2日目は課題別研究協議会があり、10課題に分かれて開催されました。

私は 第10課題 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育
—安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方—
に参加してきました。

- ① 福井県立坂井農業・坂井高等学校 教諭 山田 純子
高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の実践
「その一本を吸わせないために」
- ② 埼玉県川口市立芝西中学校 主幹教諭 大石 賢治
生徒の主体的参加を目指した薬物乱用防止教室
—教科等の横断的な取組、地域の力の結集を目指して—
- ③ 石川県金沢市立大浦小学校 教諭 畑 成人
喫煙をしない意思を育てる教育の実践
—受動喫煙防止の取組を通じて—
の、3名の先生方の発表がありました。



3名の先生方の具体的な工夫として、1.学習や活動の中で自尊心を育てるとして、児童生徒の主体的な活動を取り入れできたことを賞賛し認めていること 2.家庭や地域との連携の中で自尊心を育てるとして、保護者や地域から見守られている実感を味あわせ、社会の一員であること、自分が大切な一人である実感を積み重ね自尊心を育てている。これらの点が素晴らしいと感じました。地域との連携の中で、薬についての専門家である学校薬剤師への期待も多く感じられました。

最後に 「ライフスキル形成を基礎とする喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育」の演題で、神戸大学大学院教授の川端 徹朗先生の講義がありました。生きていくうえで不可欠な基本的心理能力（ライフスキル）が育っていない子供たちは、社会的要因の影響を受けやすく喫煙、飲酒、薬物乱用を含む様々な危険行動をとるリスクが高いことが明らかである。ライフスキルの形成を高めることは、「生きる力」を育み、人生上の様々な困難を乗り越えて成長し大人としての社会的役割を果たすことになる。そのためには、ライフスキル教育を持続的に学校の教育システムに組み入れる必要があると述べられました。

本大会は全国の学校薬剤師の先生がたと交流でき、とても充実した大会です。来年は愛媛県松山市にて12月に開催されます。是非とも先生方のご参加をお待ちしております。